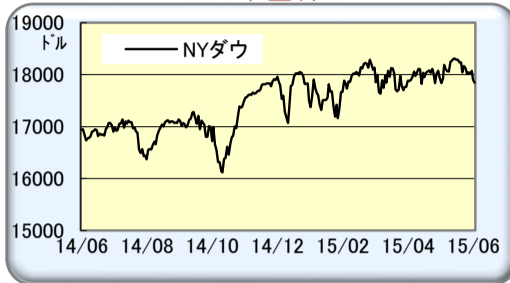


1. 日米株式と円/ドルの推移

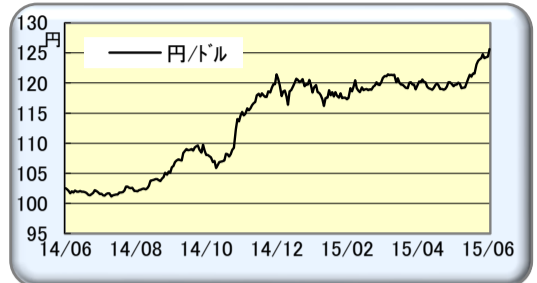
<日本株>



<米国株>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2014/12/31	2015/5/29	2015/6/5	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	17,450.77	20,563.15	20,460.90	20,655.33	2015/5/28	8,328.02	2012/7/25
NYダウ	ドル	17,823.07	18,010.68	17,849.46	18,351.36	2015/5/19	12,125.00	2012/6/6
円/ドル	円	119.78	124.15	125.63	125.86	2015/6/5	77.13	2012/9/13

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 日経平均は、27年3ヵ月ぶりの12連騰の後は軟調な展開 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲102.25円(▲0.50%)、TOPIXが▲6.59ポイント(▲0.39%)となり、日経平均は、27年3ヵ月ぶりの12連騰の後は軟調な展開となりました。業種別(東証33業種)にみると、パルプ・紙、金属製品、ガラス・土器製品など15業種が上昇する一方、ゴム製品、海運業、空運業など18業種が下落しました。週明け1日の日本株市場は、朝方に発表された1-3月の設備投資額が市場予想を大きく上回ったことなどから続伸して始まり、しかしその後週末にかけて、円安ドル高が進行し125円をつける場面もみられたものの、①ギリシャ債務問題への警戒感が高まったこと、②IMF(国際通貨基金)が米国の経済成長率予測を引き下げたことを受けて米国株市場が下落したことなどから、下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	
6月8日	Mon	日本	国際収支:経常収支	4月	2兆7953億円
			貿易収支(国際収支ベース)	4月	6714億円
			GDP(国内総生産)改定値(年率/季調済/前期比)	1-3月期	2.4%
			景気ウォッチャー調査現状	5月	53.6
			景気ウォッチャー調査先行き	5月	54.2
6月9日	Tue	中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	5月	1.5%
6月10日	Wed	日本	機械受注(前月比)	4月	2.9%
			国内企業物価指数(前年比)	5月	-2.1%
6月11日	Thu	米国	小売売上高(除自動車)(前月比)	5月	0.1%
		中国	鉱工業生産(前年比)	5月	5.9%
6月12日	Fri	日本	第3次産業活動指数(前月比)	4月	-1.0%
		米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	5月	0.8%
			ミシガン大学消費者信頼感指数	6月	90.7

決算発表予定 他	日本	決算発表 : 6/8 LIXILグループ
----------	----	----------------------

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ FRB(米連邦準備理事会)の利上げ前倒し観測を背景に上値の重い展開 ~

今週の日本株市場は、円安ドル高の進行や2015年1-3月期GDP改定値の上方修正など国内ではプラス材料が目立つものの、①先週末に発表された米国雇用統計が市場予想を上回る結果になったことを受けてFRBの利上げ前倒し観測を織込む動きが進む中、米国金融市場を中心にリスク回避傾向が強まりやすいこと、②ギリシャ債務問題において、ギリシャ政府とEU(欧州連合)等国際債権団との対立が深まる傾向にあることなど海外のリスク要因に足を引っ張られる形で、上値の重い展開が続くと予想します。その他注目材料としては、8日の景気ウォッチャー調査(日本)、11日の小売売上高(米国)や鉱工業生産(中国)などが挙げられます。